

大手企業が採用したMicrosoft Teams CVIソリューション

Pexip（ペクシプ）の活用事例



VTVジャパン株式会社



オンプレミスMCUからクラウドサービス・Pexip Serviceへ移行 既存システムとMicrosoft Teamsを活かして コミュニケーションツールの統合運用を実現

大手石油企業様は、グループでの会議用にMCU（多地点接続装置）とテレビ会議専用機を利用し、2018年からはWeb会議ツールとしてMicrosoft Teamsを採用し、ふたつのコミュニケーションツールを用途を分けて運用していました。2020年にはテレビ会議システムの老朽化と管理・運用面の問題・課題などが浮き彫りになっていましたが、当初はテレビ会議システム一式だけのリプレースを計画されていました。

VTVジャパンは、お客様の運用方法や稼働状況、懸念されている問題や課題をヒアリングした結果、テレビ会議システムのリプレースだけではなく、MCUをクラウドサービス化することを提案しました。クラウドサービスなら簡易運用面の問題課題が解決・改善することに加え、Microsoft Teamsと連携してテレビ会議の活用幅が広がることをご紹介します。

同社は、VTVジャパンの提案を採用し、完全クラウド化することを決定しました。

リプレイス前の状況

- ・各拠点にテレビ会議専用機を導入し、MCUで会議予約や多地点接続会議を実施していた
- ・Microsoft Teamsを導入し、Web会議ツールとして活用していた
- ・社内のIP電話システムをMicrosoft TeamsによるPhone Systemに移行

問題・課題

- ・テレビ会議システムの機器サポートがない状態で運用するのはリスクが高い
- ・テレビ会議システムの管理負荷を軽減したい

Pexipの導入効果

●時間・コストの削減に

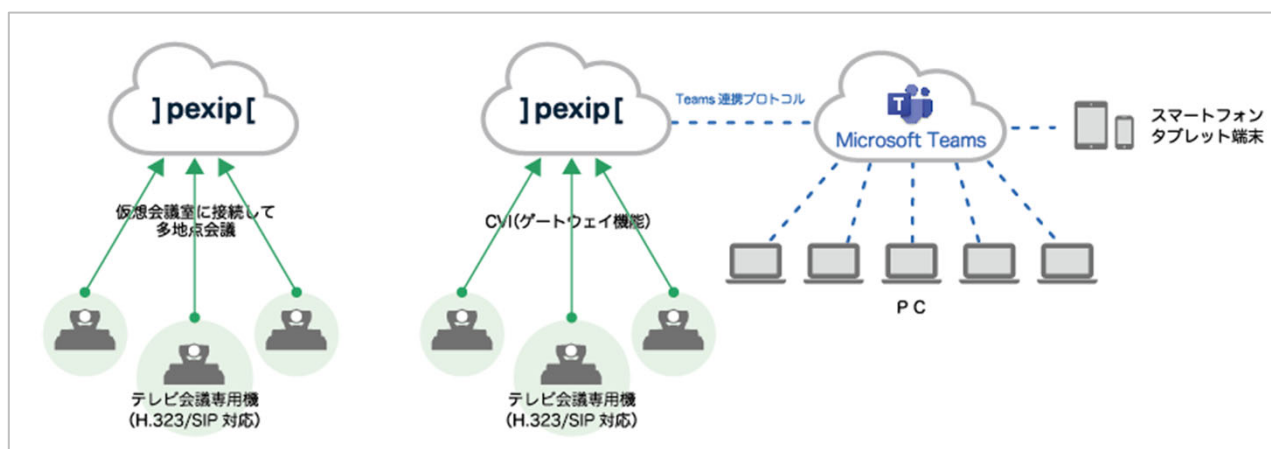
自社でサーバを保有する必要がなく、導入コスト抑えてスタートできた。また、オンプレミスと比較し、運用開始までの時間を短縮できた。

●管理業務の軽減

サーバを管理する必要なくなり、業務負荷の軽減につながった。また、ユーザー自身で会議予約・接続できる運用に変更したためユーザーにとっても手軽に利用できる環境になった。

●利便性の向上

ふたつのツールを相互運用でき、ユーザーが接続方法・デバイスを選択できるようになった。1仮想会議あたり100デバイス接続でき、社外との会議もしやすくなった。



クラウドサービスをPexipに変更 Microsoft Teamsでの会議運用で操作性改善 既存のテレビ会議専用機も有効活用できるコミュニケーション基盤に

大手医療系製造会社様は、クラウドサービスを軸にしたオンライン会議を行っていました。コロナ禍前は、社員は会議室にあるテレビ会議専用機から、取引先や提携会社など社外からの参加者はPCやモバイルデバイスからクラウドサービスの仮想会議室に接続し、会議を行っていました。オンライン会議の稼働率に比例してお問い合わせが増えたり、音質改善を求める声が社内から上がっていました。また、社内研修や勉強会で利用されるようになると録画や画面レイアウトの変更など新しいニーズがでてきました。同社では、社内コミュニケーション活性化目的でMicrosoft Teamsも導入しており、こちらの操作性については不満の声がなかったため、コロナ禍によるリモートワーカーの増加に伴いMicrosoft Teamsをメインツールにすることを決めました。しかし、既存のテレビ会議専用機の有効活用について相談を受けたVTVジャパンは、現在のクラウドサービスをPexip Serviceに変更することで、メインツールとなったMicrosoft Teamsの会議にテレビ会議専用機からも参加できると考え、提案し、採用されました。

リプレイス前の状況

- ・操作に不慣れなユーザーが多かった
- ・既存クラウドサービスとテレビ会議専用機は同メーカーで統一。アドレス帳共有など連携面のメリットがあった

問題・課題

- ・Microsoft Teamsをメインツールにしたい
- ・サポート業務を軽減したい
- ・録画機能や講師モードレイアウトなど新機能に対応したい
- ・既存のテレビ会議専用機を使い続けたい

Pexipの導入効果

● 操作の問い合わせが減少

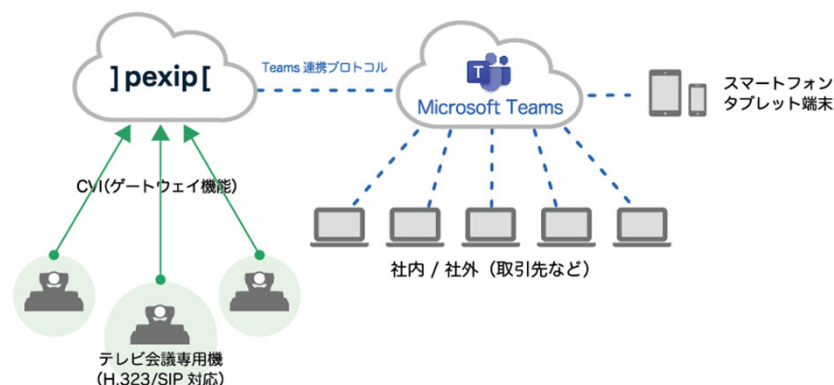
会議主催者は使い慣れたMicrosoft Teamsで予約・開催ができるため操作に関する問い合わせが減少した。ユーザーの利便性がアップし、管理業務の軽減にもつながった。

● 録画・ストリーミングに対応

録画機能に対応しているので議事録としてデータ保存できます。また録画したデータをYoutubeにアップロードして、リンクを共有すれば誰もが自由に視聴できます。研修や勉強会に有効な機能です。

● 優れた接続互換

Pexipはサードパーティのテレビ会議専用機の接続互換に優れているため、既存専用機も利用し続けられる。また、取引先など異なるネットワーク環境からも接続できるので今まで通り、会議を開催できている。



Pexip社のご紹介

<https://www.pexip.com/ja/>

Pexip（ペクシブ）社は、Ciscoシステムズ社（旧TANDBERG）でテレビ会議における20年以上のキャリアを培ったメンバーが中心となり、2014年4月のノルウェー・オスロに設立されました。あらゆるデバイスやツールを接続するためのコミュニケーションプラットフォームを開発・販売し、その技術は世界中で高く評価され、大学や政府機関、大手企業などに導入されています。2018年、マイクロソフト社にMicrosoft Teams CVIパートナーとして認定され、Microsoft Teamsとテレビ会議の相互運用性を実現できるソリューションとして注目されています。Pexipソリューションをクラウドサービスと仮想サーバに対応するオンプレミスで提供しています。お客様のご利用環境にあわせて選択いただけるのが特長です。

] pexip [



VTVジャパン株式会社のご紹介

<https://www.vtv.co.jp/>

1995年に設立してからテレビ会議・Web会議ソリューションの提案、販売、保守サポートを提供しています。他社にはないPexipソリューションの特長に注目し、2014年にPexipの正規販売パートナーになりました。

お客様がビジネスを進める中で遭遇するさまざまな問題や課題、そしてそこから導かれる「なりたい姿・あるべき姿」、それらの実現に向け、ビジュアルコミュニケーションの力で貢献することが、弊社の目指すソリューションコンセプトです。

長年の「経験知」と「ノウハウ」から培った「デザイン力」を、お客様のアイデアと掛け合わせることで最大効果を生む、お客様とそんな関わりを持ちたいと考えています。



最大
30日間

Pexip無料トライアル実施中！

購入前に納得いくまでご確認くださいように、最長30日間の無料トライアルを実施しています。

ぜひこの機会に、お持ちのPCやテレビ会議専用機、スマートデバイスなどからPexipソリューションをご体感ください。トライアル期間中の操作やご質問も手厚くサポートいたします。



お申し込みはWebサイトから
またはQRコードを読み取ってください

<https://www.infinity-vtv.jp/trial/>

お問い合わせはお電話またはフォームから

東京:03-5210-5021 大阪:06-4706-3930

ホームページ:<https://www.vtv.co.jp> メールアドレス:vtvinfo@vtv.co.jp



VTVジャパン株式会社



<東京オフィス>

〒102-0073

東京都千代田区九段北1-11-11 第2フナトビル6F

TEL.03(5210)5021 FAX.03(5210)5022

<大阪オフィス>

〒541-0048

大阪市中央区瓦町4-5-9 井門瓦町ビル5F

TEL.06(4706)3930 FAX.06(4706)3931